

兵庫県立西脇高等学校 生活情報科通信 No.9

文化祭 2年 演劇
家庭クラブ バザー・展示



家庭クラブ バザー

- ・1年 刺繍入り巾着
 - ・2年 エプロン
 - ・3年 ソーイングケース
- ほか播州織小物を販売しました。
・金ゴマクッキー
・チェックッキー
大変好評で 即完売でした。
ありがとうございました！



NSHブランド: Nishiwaki Seijo Highschool BRAND



CHENIM / Stylish girl / RETRO / MY COLOR

アンケート結果 1位Stylishgirl 2位CHENIM でした。引き続き オリジナル播州織の提案を行っていきます。

2年生 劇
優秀クラスに
選ばれました。



浴衣・検定の甚平・ワープロ
検定・パソコン検定・東北ボ
ランティアの準備・ボラン
ティアの手提げ袋200
個！



- ・文化祭を終えて思ったことは「引っ張る人がいてまとまりにつながる」ということです。実行委員がいたからこそまとまり、劇の練習やダンスにも中心人物がいて、この中心人物の大切さを実感しました。
- ・一つの作品をみんなで作っていくということの大切さを感じました。全員がしたいと思うことや考えが必ず一致するわけじゃないし、それぞれやりたいこともあったと思うけど、一つの目標に向かって頑張ることができたと思います。
- ・一人ひとりが自分のやることに責任をもって最後までやり遂げることが大切だと改めて分かりました。自分が今何をしなければいけないか、どういう行動をとればいいのか、その場その場での確に判断することが、本当にこれからも重要になってくると思いました。

- ・クラス劇をするために、物語を考えたり、衣装について話し合ったりたくさんのことを短時間でしなければならなかったので、とても大変でした。でも、そんな中でも私たちのクラスでは、言いたいことをちゃんと伝えあったり、改善しなければならないところを指摘しあったり、大変な中でもみんな支えあうことができたと思います。急遽用事で劇を抜けたり、大変そうな人がいれば、その子のために呼びかけるなど、誰かのために動くことができる人がいっぱいいました。改めて素晴らしいクラスだと思いました。
- ・みんなが一生懸命に準備してくれたから、自分にできることを精一杯しないとイケないという気持ちになっていました。誰かのために必死になってやってくれる子がいて、その頑張りに答えたいと思いました。
- ・行事だけでなく、普段の生活からもっと積極的に自分から行動しようと決めました。
- ・自分の意見をいうことはあまり得意ではないのですが、思ったことが言えるような人になりたいと思いました。もっと自分をだしていきたいと思います。

<私たち、西脇高校、生活情報科の卒業生です>・・・ジーンとききました。「家政科」から学科改編し、胸張って「生情や！」って言ってくれた51回生・・・あれから慶應義塾大学・京都教育大学・茨城大学・関西学院大学・京都女子大学・同志社女子大学・ハワイの大学そして武庫川女子大学の指定校など様々な可能性をつくり出してくれました。コムデギャルソン・イッセイミヤケ・ワールドなどでデザイナーやMCで活躍している卒業生、地元保育士や教員、企業でも活躍し、よい評価をいただいています。地元播州織商社で、hatsutokiのブランドを立ち上げた小野さん・・・これからも地域とつながりますます魅力ある生活情報科を目指し、一人ひとりが前向きに頑張ってください。